



学校教育目標

『未来を生きる力を育む』

私たちは、子どもたち一人ひとりが、
自分の人生をしあわせに、そして希望をもって歩んでいけるよう、
「未来を生きる力」を育む教育を目指します。

その中心にあるのが「ウェルビーイング」の視点。
心と体の健康、良好な人間関係、自分の価値を感じられること、
そして社会とつながりながら成長していくこと。



令和7年度 尾道市立浦崎中学校

■ 育む3つの力 ～子どもたちが身につける「未来を生きる力」～

1 主体性

自ら問いをもち、学び方を選び、人生を切り拓いていく力

2 協働性

多様な他者とともに学び、認め合い、共により良い社会をつくる力

3 創造性

変化を受け入れ、課題を見つけ、自分なりの解決や価値を生み出す力

■ 教育理念・指導方針

◇基本理念

子どもたちは、有能な学び手である。

すべての子どもに可能性があり、成長の力があります。

私たちは、学びの伴走者としてその育ちを支えます。

◇指導方針

一人ひとりの個性を尊重した個別化された学び

生徒が自ら学びに向かう学び方の選択肢がある授業

教師も共に学び続ける協働的な教育文化

■ 特色ある教育活動

◇多様な学びの選択肢のある授業

生徒一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度などに応じて、教材の柔軟な提供や、個別の伴走・支援により、“自立した学び手”を育成します。

◇「マイプラン学習」

一部の単元において、自ら学習計画を立て、ＩＣＴの活用など多様な学習方法により、自ら調整を図りながら学びを進めます。（単元内自由進度学習）

◇「まなびチャレンジ」

試験期間中の６時限目は、各教科の目標達成に向けて、自分なりの計画と、自分なりの方法で学びを進め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図ります。

◇「異文化間協働学習」

多様な国々の人々との交流を通して、国境を越えて理解しあい、協力して持続可能な社会を実現する教育を推進します。

・ English Day Urasaki ・ 海外校国際協働学習

◇総合的な学習の時間「まなびクエスト」

「ローカル」郷土“浦崎”の生活と自然から、「グローバル」国際協働学習などにより、現実の社会に当事者として参画する学びの充実を図ります。

◇総合的な学習の時間「まなびスペシャル」

各界の著名な講師との出会いで社会を意識し、自らの生き方を見つめる学びを応援します。

<令和７年度ゲストティーチャー>

・ 小林紀子バレエ・シアター ・ 広島サンダーズ ・ 廣中正樹様

◇生徒による自治活動の充実

生徒会行事や浦崎大運動会、音楽コンクールなどは、生徒が主体となって行事の成功をめざし、多くの生徒とともに感動を味わいながら企画・運営を実践的に学びます。

◇手帳による自立した学び手の育成

生活や学習における目標・計画を設計し、習慣的に見直しを図ることにより、努力を成果へとつなげ、自分に自信を持つとともに、自ら学ぶ“自立した学び手”を育成します。

◇浦崎１５年連携教育 「自立した学び手を育む浦崎１５年連携教育」

自分に最適な学びを自分で計画・実行できる力を育むことにより、生涯を通じて「学び続ける力」を育みます。

◇浦崎地域学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

保護者や地域の皆様とともに知恵を出し合い、意見を学校運営に反映させることにより、学校と地域が協働しながら、子供たちの豊かな育ちを支え「地域とともにある学校」づくりをすすめます。

幸せに生きる力は、今ここから育まれる。

私たちがめざすのは、

学んだ知識をもとに、「生き方」まで育む学び。

子どもたちが未来をしあわせに生きるために、

学校はその土台をつくる場所でありたいと考えています。

